

生後2週の顔面湿疹と全身症状を経て夜泣きがなくなった乳幼児アトピーの経過 (1歳男児)

症例 ID：001-01-TE | 記録日：不明

1. 診断・治療前経過

生後2週間頃から顔と頭に発疹が出ました。4か月時に耳周囲が急に浸出性となり、寝具が体液で汚れる状態となりました。近医で外用薬を約1週間使用すると一時的に軽減しましたが、中止後に顔・頭から背中・腹部へ症状が広がり、夜泣きも強くなりました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	近医でステロイドを含む外用薬を使用しました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	生後4か月頃に約1週間使用しました。
中止時期	生後4～5か月頃です。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
生後2週	発症	顔と頭に小さな湿疹が出ました。
生後4か月	急性悪化	耳周囲が浸出性となり、寝具が汚れる状態となりました。
近医受診後	一時軽減	外用薬で一時的に改善しましたが、中止後に全身へ広がりました。
生後5か月頃	治療開始	煎じ薬などを開始しました。
開始2週間後	症状拡大	顔が赤くなり、背中のざらつきと色調変化が強くなりました。
治療2か月間	ピーク期	夜間のかゆみと夜泣きが続きました。
治療半年後	改善傾向	良い日と悪い日が同程度となりました。
治療1年半後	経過後	夜泣きはなくなり、全身の皮膚は滑らかな状態となりました。

4. ピーク時期

ピークは治療開始後約2か月間、全身の赤みと乾燥、夜間のかゆみと夜泣きが続いた時期です。

5. 困りごと

- ・乳児へ煎じ薬を飲ませることが難しく、毎回時間を要しました。
- ・夜泣きが続き、家族にも睡眠不足がありました。

6. 経過のまとめ

治療1年半後には夜泣きがなくなり、全身の皮膚は滑らかな状態となりました。
その後、症状のために通院する必要がなくなりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。